

大阪城

2023
3/27 (月)
14341号

全港湾
西成分館

2247
6647-
4947

桜も咲き、春目になった。重たく黒い冬服も
片はけて新しい自然に適應していかないと
アカン。4月からは、役所とか学校などは新年度
とかだが、経済社会も激変を迎えている。

アメリカで中堅銀行が2つ倒産して、スイスの
N02の銀行が倒産し、スイスの銀行が救うため
吸収した。銀行といえば、スイスの銀行がお困く
一着信用でキマるといわれたのは、昔の過当な
話になっている。ヨーロッパを以てドイツ・仏・英の
銀行も不安定になっている。政府や権力者たちは
だいたいようばーとか安心さそうとしているが、うまく
おさまりそうもない。4/9からは、新しく植田銀
総裁の登場だが、日本もインフレ物価高は続く
し、金利をどうするか、中小企業の倒産もふえてき
ている。ウクライナで戦争など起きている場合かつと
なる世界経済の状況になっていきそうにみえる。

4/9統一地方選挙や4/23の国政補欠選挙 (5ヶ所)
などもあるので、国会にはからず勝手につかえる
予備費から2兆円物価高対策 (選挙対策) で
出すという。3万用くばるゝとか、ガス電気代の補
助金を出すとかいつ。金融危機の津波は、そんなもの
のみこんで押し流していきそうだ。

仕事の落ち込み、散々な年度がおわります

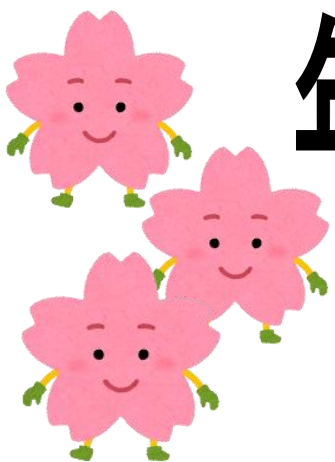
新年度は「日雇い求人」の盛り返しを期待したい

昔、「選挙のときは仕事がいっぱい出る」とよくいわれていました。理由はしかとわかりませんがたしかにそうでした。しかし最近では「選挙の年は仕事が止まる」と言われるようになって今回の選挙はそうなっています。「緊縮財政」「身を切る改革」は経済を委縮させる効果しかなくなっています。

「コロナも済んでこれから経済を盛りたてよう」というタイミングですが、なかなか明るい展望が描かれないので、西成労働福祉センターの現場に携わるスタッフの方々も苦労しているようですが、状況が悪化すればするほど「本来求められている役割」の緊要性がたかまってきているということだとおもいます。

あいりん労働公共職業安定所ともども、この地域で設置された主旨、悪化する状況を再確認して知恵をしぼって対策を練り上げていくことが求められているようです。

三角公園の桜が昨日満開になって
ました暗くて悪い話ばかりでは人
生寂しいので、桜の花を楽しんで新
年度をむかえたいものです。



年度末週・求人まばら